

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 18号)

2021年 3月 9日発行  
 兵庫のみ研究所

前回 (3/3) 調査同様に、西部沿岸域でレプトシリンダラスやリゾソレニア等数種の珪藻がやや多く確認されました。今回調査は上げ潮時で、窒素は明石海峡周辺海域の海水の影響が見られた魚住以東で全般に  $1.5 \mu\text{g-at/L}$  前後、二見周辺で  $1 \mu\text{g-at/L}$  台の値でした。

(水温) 漁場内平均  $10.0^\circ\text{C}$ 。昨年比  $0.9^\circ\text{C}$  低く、平年比  $0.8^\circ\text{C}$  高い。(塩分) 平均  $32.01\text{psu}$ 。前回 (31.80) より約  $0.2\text{psu}$  高い。  
 (栄養塩、珪藻) 二見西部～別府周辺の沿岸域でレプトシリンダラスやリゾソレニアがやや多く、ユーカンピアも同域で海水  $1\text{ml}$  あたり  $50\sim 100$  細胞確認されるが発生量は前回調査と変わらず大きな増減は認められない。二見東部以東ではこれら珪藻は少なく、スケレトネマが東に進むに従って散見される程度の状況。窒素は陸水等の影響が見られた地点を除き、二見周辺で全般に  $1 \mu\text{g-at/L}$  台前半、魚住以東で  $1 \mu\text{g-at/L}$  台半ば前後であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.5	10.0	9.2	10.9
窒素	1.3	1.6	3.3	3.1
リン	0.29	0.28	0.30	0.42

(3/3)

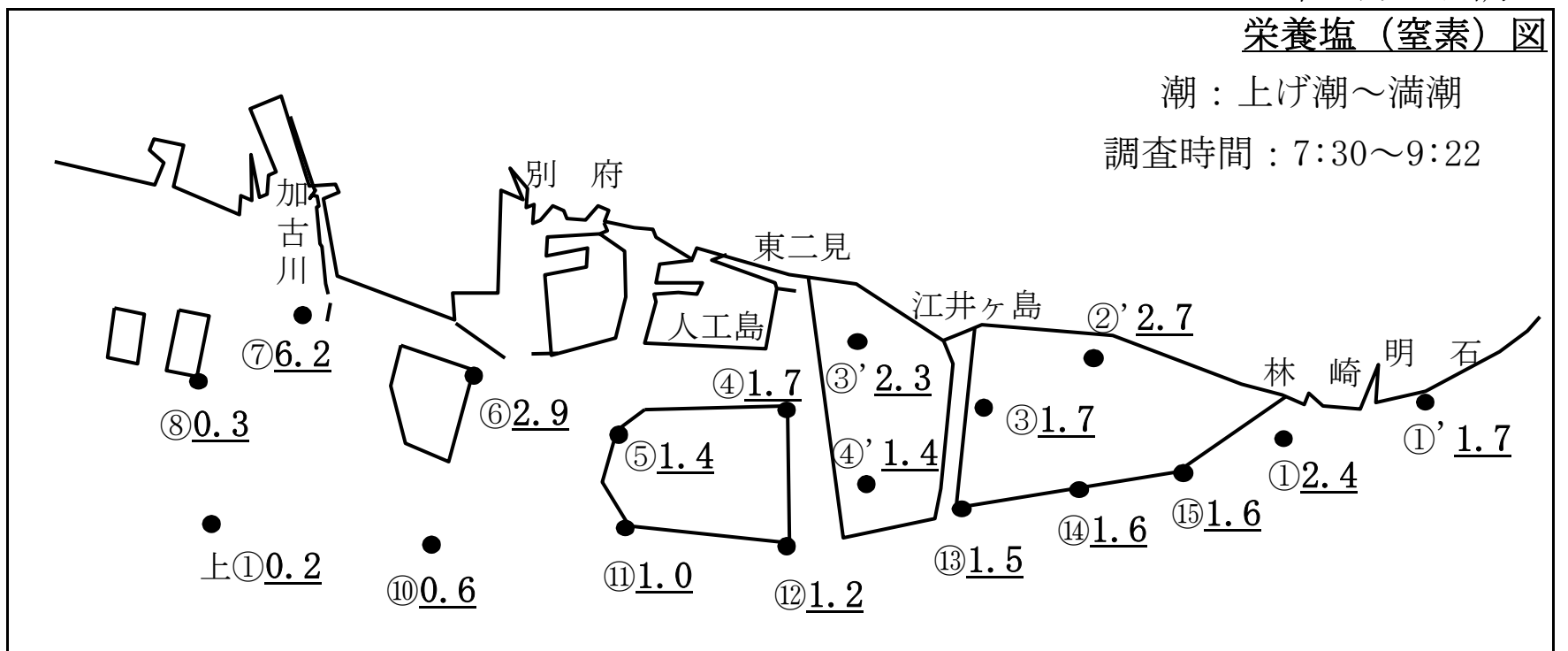
(3/6)

2021年 3月 9日調査

## 栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ潮～満潮

調査時間：7:30～9:22



## 水温図

